

『セナリヨ授業再現事業』 参加者募集!!



かつて、戦国時代の南島原に、イエズス会の中等教育機関「有馬のセナリヨ」が創立され、13～14歳の少年たちが語学や音楽などを学び、4人の少年たちがキリシタン

大名の名代としてヨーロッパへ派遣されました。これが、有名な天正遣欧少年使節です。

この少年使節の功績やセナリヨなど地域の歴史を学ぶため、市内の中学生を対象に「セナリヨ授業再現事業」を1泊2日の日程で開催します。

なお、この再現事業は「平成遣欧少年使節海外派遣事業」および「天正遣欧少年使節ゆかりの地海外派遣事業」の選考会を兼ねており、参加者の中からそれぞれの事業について派遣団員を選考し海外へ派遣します。(詳細日程は派遣先との調整がつき次第決定します。)

詳細は市ホームページをご覧ください。

- 参加資格…市内に住所を有する中学生
- 開催日…4月29日(土)～30日(日)
- 場所…願心寺(北有馬町)ほか
- 参加費…2,000円(食事代・保険料など)
- 募集定員…22人
- 申込方法…参加申込書に必要事項を記載の上、各中学校へ提出
- ※市内に住所を有する中学生で、市外の中学校に通う生徒は直接、南島原市世界遺産市民協議会議事局にて提出してください。
- ◆参加申込書の様式は、下記(市ホームページ)よりダウンロードできます。
- <http://www.city.minamishimabara.lg.jp/page6274.html>
- 申込締切…4月20日(木)

〒859-2211 西有家町里坊96番地2
南島原市世界遺産市民協議会議事局 ☎73-6631
(企画振興課地域政策班内) 担当: 大崎・山口



経済界との意見交換の様子

中学生4人は、キエーティ市内で3泊4日のホームステイに臨み、言葉も通じず苦労したようですが、それぞれの家庭に温かく迎え入れられ一生の思い出をつくることが出来ました。

ホームステイ

経済界から多くの人たちが集まり、その中でまずは、人的交流を図りながら、経済交流まで発展するよう進めていきたいとの意見が出されました。

経済界との意見交換会

約430年前、ヴァリニャーノ神父と天正の少年達との出会いから始まった旅は、時を超えて今を生きる私たちに受け継がれました。この交流が継続できるよう、更なる友好を深めていきたいと思います。

時を超えた結びつき



ホストファミリーと、抱き合って別れを惜しんだ



本格的なオペラ座や美術館がある



記念品の交換を行う両市長

今回の訪問は、友好都市となつて初めてのことで、キエーティ市のブリーミオ市長をはじめ、理事や市議会議員の皆さん、キエーティ知事の歓迎を受けました。意見交換会では、ヴァリニャーノ神父のご縁をいただき友好都市となったことへの感謝の言葉が述べられ、将来に向けた人的交流を進め、今後更なる友好を図っていくことで合意しました。

キエーティ市との意見交換会



キエーティ高校の図書館

友好都市
キエーティ市訪問
キエーティ市は、ローマからバスで3時間の標高330mの位置にあり、有馬にセナリヨを創設したアレッサンドロ・ヴァリニャーノ神父の生誕の地です。
訪問日は、キエーティ市内は雪景色に包まれていました。昨年、調印式に来日されたヴィオラ理事や、中学生がお世話になるホストファミリーの皆さんに出迎えられました。



キエーティ県庁内での意見交換会



口之津中学校 2年
小玉 亜澄さん

私はこのイタリア派遣事業を通して、計り知れないほどの経験を積むことができました。それに、初めてのことで、慣れない環境に困ったり、悩んだり、試行錯誤していく中で初めて感じるものがたくさんありました。

日本に帰ってきたときには、言葉が通じることさえありがたかったです。安全に元気で帰ってこられたのも、出発までに準備を進めてくださった方々、

そして、一緒にイタリアへ行ってくださった皆さん、さらにイタリアへ行くことを、大騒ぎして喜んでくれた家族のみんなのおかげです。このご恩は、これから先にこの経験をつなげ成果を出すことで返します。

最後に、セナリヨ再現事業に参加すると決めて、イタリアへ行くきっかけを作ってくれた自分にも、ありがとうございました。



北有馬中学校 2年
松井 咲環さん

本当にかけがえのない勉強をさせて頂きました。小学生の時から本を読んでいましたが、それは本当にごく小さなことで、レベル違いでした。実物を見て、話を聞いたりするのは、それ以上ない貴重な体験と勉強法でした。

今回ローマに行って、ローマと南島原市とのつながり、天正遣欧少年使節のことを国際的に研究したいと思っていた気持ちが強くなり、絶対に研究す

るという気持ちに固まりました。今回体験したことは必ず将来につながると思うので、今回のことも含め、もっと本などを読み、今できる限りのことを調べ、将来につなげていきたいです。

今回私がローマに行くことを応援し、支えてくれた親や、準備をしてくださった市の方々に深く感謝しています。ありがとうございました。